

# 地域事業者との連携活動

## 1) 学校給食等に対する放射性物質検査協力

いわき市教育委員会では、小中学生に提供する学校給食について、調理前の食材検査及び調理後の一食全体検査を平成 24 年度から実施している。当事業の一環として設置したいわき明星大学環境放射線測定室では、牛乳、白米、一食全体検査に協力しているので紹介する。

牛乳は、日々の献立に関わらず全ての児童生徒が飲むものであり、給食として摂取する品目の中では年間の合計摂取量が最も多いものである。保護者からの不安の声も未だにあることから、簡易型放射能検査器ではなく、より精密な検査が可能なゲルマニウム半導体検出器で検査することとし、当環境放射線測定室に協力依頼があった。検査には平成 25 年度から協力しており、今年度も引き続き週 1 回程度の頻度で検査を行っている。

白米は、平成 26 年 11 月から検査協力を行っている。いわき市では、平成 26 年 12 月から学校給食用のお米にいわき産米の使用を開始した。学校給食で使用するお米は、福島県が実施している全量全袋検査に加え、福島県学校給食会等でも簡易型放射能検査器による検査を行っている。しかし、より精密な検査を希望する声があることから、当環境放射線測定室において、ゲルマニウム半導体検出器を用いた検査に協力をしている。検査は、2 週間に一度程度、一回当たり約 1 kg の米 10 検体をお預かりして行っている。

また、一食全体検査は、調理済みの学校給食 3 食分をまとめて 1 検体とし、ゲルマニウム半導体検出器で検査している。今年度環境放射線測定室では、県の検査体制が整うまでの 1 学期間、月曜日から金曜日のほぼ毎日 3 検体の検査依頼に対応してきた。

これら教育委員会からの依頼による検査は、学校給食の他学校のプール水等もあり、合計で検査数は 500 件以上となっている。学校給食等における放射性物質検査の方法や結果については、

いわき市のホームページ-学校給食等における放射性物質検査の結果について

(<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1001000004645/index.html>) に公開されている。



一食全体検査用検体

**平成27年度学校給食(一食全体)における放射性物質検査の結果について**

いわき市教育委員会事務局 学校支援課  
電話番号 0246(22)7545

1 検査機関 いわき明星大学 環境放射線測定室  
2 検査方法 (1) ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリーによる核種分析  
(2) 調理済の学校給食一食全体(主食・牛乳・デザート等も含む)を3食分まとめて1検体として検査

※ ND(Not Detected) = 不検出

No.	給食施設等名	検査対象とした 学校給食提供日	検査結果(Bq/kg)	
			放射性セシウム-134	放射性セシウム-137
1	常磐給調 (小学校献立)	H27.4.27	ND	ND
			(<0.536)	(<0.619)
2	常磐給調 (中学校献立)	H27.4.27	ND	ND
			(<0.544)	(<0.637)
3	平南部給調 (小学校献立)	H27.4.28	ND	ND
			(<0.573)	(<0.586)
4	平南部給調 (中学校献立)	H27.4.28	ND	ND
			(<0.529)	(<0.618)
5	田人給調 (小学校献立)	H27.4.28	ND	ND
			(<0.542)	(<0.612)

\*検査結果の( )内の数値は、検査機器の検出下限値を示しており、個々の検体の重量・性状・形状等によって異なります。

一食全体検査結果 (抜粋)